

輸送経済

7/15

THE YUSO-KEIZAI

平成20年
(2008)
(火曜日)
週刊

第2806号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

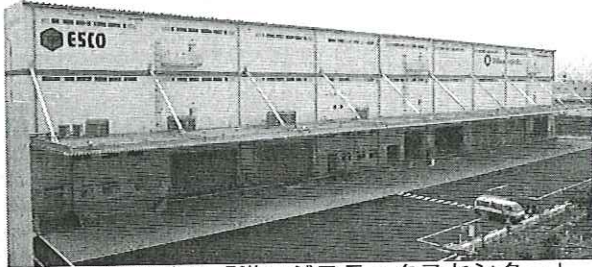
外販向け拠点増設

大和物流 名古屋・大阪などに

大和物流(本社・大阪市・鶴野克好社長)は、首都圏、名古屋、大阪に相次いで拠点を増設する。大和ハウスグループ向けの物流を強化するほか、外販事業の拡大に対応する。

(藤本 尊正)

八月、大阪市港区に四層建てで、延べ床面積約二万八千平方メートルの「工具卸の物流拠点」として稼働する。大阪湾岸に立地する。グループ向けに住宅、建材やオフィス・業務用家具を扱うほか、機械・



8月に稼働する「港ロジスティクスセンター」(大阪市港区福崎)

「港ロジスティクスセンター」貨物の取り扱い増を目指す。敷地面積は約一萬九千平方メートル。施設は二十四時間稼働で、大阪湾から陸揚げされた床面積約四万平方メートル

の常温倉庫を増設する。保管スペースが合計約一萬七千平方メートルとなる。料メーカーが東日本の物流拠点として運営する。面積約七千三百平方メートルの物流センターを増設する。センターに入荷するアルミホイールは年間約四百本。取り扱いが増えたため、倉庫を増設する。